

臨床検査技師中級試験範囲一覧

第1分野	血液検査(12)	感染症検査, 薬剤血中濃度検査実施予定者の確認
		検査指示箋の作成と打ち出し
		各指示医より血液検査の指示受け
		実施日程の計画と各病棟への報告・確認
		検査準備
		検査実施と実施一覧への入力
		血液検体の収集
		検査センターへの検体提出と検査結果の受け取り
		異常値の確認と実施一覧への入力
		各病棟, 内科医, 各指示医へ検査結果の報告
		検査結果(所見)の確認と実施一覧への入力
		医事課への報告
		実施予定者の確認
第2分野	心電図検査(10)	検査指示箋の作成と打ち出し
		各指示医より心電図検査の指示受け
		実施日程の計画と各病棟への報告・確認
		検査準備
		検査実施と実施一覧への入力
		測定結果の処理
		各病棟, 内科医, 各指示医へ検査結果の報告
		検査結果(所見)の確認と実施一覧への入力
		医事課への報告
		検査指示箋の作成と打ち出し
第3分野	尿検査(5)	各指示医より尿検査の指示受け
		検査準備
		検査結果(所見)の確認と実施一覧への入力
		医事課への報告
		検査指示箋の作成と打ち出し
第4分野	脳波検査(7)	各指示医より脳波検査の指示受け
		検査準備
		検査実施と実施一覧への入力
		測定結果の処理
		各指示医へ検査結果の報告
		検査結果(所見)の確認と実施一覧への入力
		医事課への報告
第5分野	胸部レントゲン検査(7)	各指示医より胸部レントゲン検査の指示受け
		検査準備
		検査実施と実施一覧への入力
		測定結果の処理
		各指示医へ検査結果の報告
		検査結果(所見)の確認と実施一覧への入力
		医事課への報告
第6分野	外来での検査(7)	各指示医より各種検査の指示受け
		検査準備
		検査実施と実施一覧への入力
		測定結果の処理
		各指示医へ検査結果の報告
		検査結果(所見)の確認と実施一覧への入力
		検査結果(所見)を外来カルテへ添付

第7分野	その他の検査(6)	各指示医より各種検査の指示受け
		検査準備
		検査実施と実施一覧への入力
		各指示医へ検査結果の報告
		検査結果(所見)の確認と実施一覧への入力
		医事課への報告
第8分野	検査管理(3)	検査実施者の確認と入力
		検査結果(所見)の確認と入力
		月毎に医事課へ報告
		検査依頼書控えの管理
第9分野	検査センター請求書の確認(4)	請求金額の確認
		検査項目の確認(照らし合わせ)
		本部財務課へ報告
		実施日程の確認
第10分野	職員健康診断(15)	検査項目の確認
		実施対象者の確認
		健康診断実施要項の作成と掲示
		検査担当者の確認と勤務調整依頼
		検査準備
		検査担当者との打ち合わせ
		健康診断実施
		血液検体の収集
		検査センターへの検体提出と検査結果の受け取り
		異常値の確認
		内科医へ検査結果の報告
		検査結果(所見)の確認と取りまとめ
		問診票の取りまとめ
		本部総務課への報告
		実施対象者の確認
第11分野	職員検便(9)	実施日程の計画と対象者への報告・確認
		検査準備
		検体の収集
		検査センターへの検体提出と検査結果の受け取り
		検査結果(所見)の確認
		検便記録表の作成
		日清医療食品職員の検便結果の収集・確認
		庶務管理課長へ検便結果の報告
第12分野	院内感染情報の提供(7)	感染症患者様の確認
		感冒様症状の患者様の確認
		易感染患者様の確認
		院内感染情報(サーベイランス)の作成
		感染症患者一覧の作成
		院内感染対策委員会への提示
		感冒様症状患者数の統計結果の作成と掲示

中級 第1分野 血液検査	
解説	●定期血液検査は大抵毎月第1週の月～金曜日(病棟によって違いがある)に実施されている。検査項目の追加や削除などは、随時各担当医の指示によって変更される。薬剤血中濃度についても同様に、各担当医によって違いがある。 ●検査指示箋は一人分＝1枚(ページ)になっており、血液検査・尿検査・心電図検査などの検査毎にそれぞれ1枚ずつ存在する。東・西・北病棟では定期尿検査がないため一人につき2枚であるが、南病棟では定期尿検査を行っているため一人につき3枚となっている。定期検査時には、毎月一人分ずつ印刷をし、各担当医に提出している。 ●血液検査の指示受けをする時には、次の4つに特に注意する。①通常の「共通セット(CRP削除)」以外に検査したい項目があれば、各担当医が追加することもある。②特殊(普段殆ど行われない)な検査項目については、専用スピッツが必要となる事が多いため、スピッツを取り寄せたり、予め検査センターに連絡したりしなければならない。③日時指定については、「次回の点滴指示を受けるため、定期検査予定日より前に結果を知りたい」など、依頼を受ける事がある。④採血条件については、空腹時血糖の正確な測定値を調べたい場合などに「早朝空腹時」と指示が出る事がある。 ●定期採血の日程を立てる時には、次の3つに特に注意する。①採血を実施するのは有資格者のみであるため、採血人数に極端なバラツキが出ないように注意する。また日程を組んだ後は各病棟に確認し、修正する。②少しでも採血しやすいようにするため、病棟ユニット毎に採血日程を組むようにしている。(例:月～水→A・B, 木～金→C・D)③②と同様に病棟スタッフに少しでも負担を掛けないようにするため、入浴日・行事などは避けるようにしている。 ●検査物品を準備する時は、特にスピッツの種類に注意する。 ●各種検査実施状況の把握のために、「検査実施一覧表」の作成を平成15年7月より開始した。各病棟や外来からも確認出来るように、ネットワーク上で管理している。入力漏れがないように注意する必要がある。 ●血液検体収集時には、次の3つに特に注意する。①凝固または凝固の疑いのある検体があれば、もう一度採血し直す。②採血し忘れないか確認するために必要である。③もし検体が残っていた場合には、検査センター収集者に二度来て頂かなければならなくなるため。 ●血液検体提出時には、次の事に注意する。依頼内容とそれに対応した種類のスピッツがあるか確認する。依頼書に記入漏れがある場合には、再度検査指示箋を確認し、記入する必要がある。 ●検査結果において、異常値はしっかり・確実に各病棟に報告し、早急に診察・診断に役立てることが大切である。 ●検査結果の流れをしっかりと確認し、必要時にいつでも結果がみれるようにしておくことが大切である。検査結果の流れは「検査実施一覧表」を見れば、確認出来る。 ●入院患者様に付いてはアルコール依存症の方はもちろん、薬剤の長期服用によって肝機能障害を起こしている方が非常に多い。毎月の定期検査から正確にチェックしておく ●医事室では毎月、レセプトを作成している。レセプトには、検査内容や検査回数などが記入され、それを基に検査料を請求している。薬剤血中濃度検査では、初回の検査時と2回目以降の検査時とでは加算点数が違ってくるため、確実に血中濃度測定者のリストを報告する。検査回数はもちろんのこと、検査項目(薬剤名)も同時に報告する必要がある。
例題	現在、当院で行われている定期血液検査について説明しなさい。
解答	入院患者様に対して、毎月始めに定期血液検査を実施している。検査項目は東・西・北病棟では、毎月共通セット(CRP削除)だが、南病棟では1月と7月に共通セット(CRP削除)で、それ以外の月はAST、ALTと異常項目についてののみ行っている。薬剤血中濃度については、対象患者様(抗てんかん剤服用者)に対して、毎月または2ヶ月に1度、実施している。
例題	検査指示箋の作成方法について説明しなさい。
解答	①「一太郎」の検査箋というフォルダにて、他患者様の分の検査指示箋をコピーする。 ②コピーしたページに、患者様氏名・生年月日・病棟名を入力する(左右両方とも)。 ③左半券分には当てはまる検査項目に○印をつけ、右半券分にはその検査項目名を入力する。 ④間違いがないか確認し、担当医毎のフォルダに保存する。
例題	血液検査の指示受けをする時の注意点を挙げなさい。
解答	①検査項目に削除・追加などの変更がないか確認する。 ②特殊な検査項目がないか確認する。 ③日時指定がないか確認する。 ④採血条件がないか確認する。

例題	定期血液検査の日程を立てる上での注意点を挙げなさい。
解答	①有資格者の人数を考慮する。 ②病棟ユニット毎に振り分ける。 ③入浴日・プログラム・病棟行事などを考慮する。
例題	共通セット(CRP削除)、糖セット、甲状腺1セット、血中濃度;炭酸リチウムの検査時に必要なスピッツの種類を答えなさい。
解答	生化学スピッツ、末血スピッツ、血糖スピッツ、グリコスピッツ、血中濃度用スピッツの5本
例題	検査実施一覧表への入力方法について説明しなさい。
解答	①Excelの検査管理のフォルダ内の「検査実施一覧表」に検査日・患者様氏名・検査項目を入力する(病棟毎)。 ②入院時の場合には、備考の欄に「入院時」と入力する。 ③検査結果到着後、結果報告日を入力する。 ④内科医の所見を確認したら、内科医所見の欄に、担当医が所見を確認したら、担当医所見の欄にそれぞれ○印をつける。
例題	血液検体の収集時の注意点を挙げなさい。
解答	①末血検体、血糖検体、HbA1c(グリコ)用検体が凝固していないか、入念に確認する。 ②検査項目とそれに必要なスピッツの本数が合っているか確認する。 ③検体が各病棟に残っていないか確認する。
例題	検体提出時の注意点を挙げなさい。
解答	①検査センター収集者が確認しやすいように、スピッツと依頼書の順番を揃えておく。 ②依頼書に記入漏れがないか確認する。
例題	検査異常値の確認時の注意点を挙げなさい。
解答	①著しく数値の増減がみられる場合や緊急時の場合などには、確実に各病棟に報告する必要がある。 ②異常値の確認漏れがないか注意する。
例題	検査結果の流れ(検査センターの報告からカルテ添付まで)について説明しなさい。
解答	①検査結果到着後、薬局に検査結果を取りに行く。 ②入院患者様分は2枚の報告書を糊付けし、異常値には赤鉛筆で線を引く。 ③外来患者様分は糊付けはせずに、異常値に赤鉛筆で線を引く。 ④南山苑利用者様分はそのまま薬局へ下ろす。 ⑤「検査実施一覧表」に必要事項を入力する。 ⑥血液検査の場合、「血液検査結果一覧表」に検査値を入力する。 ⑦生年月日の表に検査結果を記載する。 ⑧病棟毎に分け、病棟行きのBOXに入れる。 ⑨各病棟にて「検査管理伝票」作成後、各病棟から内科医へ提出される。 ⑩内科医の所見記入後、病名の確認をする。 ⑪有所見者の場合は、「病名一覧表」に病名を入力する。 ⑫「検査実施一覧表」の内科医所見の欄に○印をつけ、再び病棟行きのBOXに入れる。 ⑬各病棟から担当医へ提出される。 ⑭担当医の所見確認後、「検査実施一覧表」の担当医所見の欄に○印をつける。 ⑮管理伝票・2枚の報告書のそれぞれ計3カ所に黒鉛筆で☑印をつけ、再び病棟行きのBOXに入れる。 ⑯各病棟から病棟クランクへ行き、病棟クランクがカルテに添付する。
例題	当院でみられる肝機能障害において、異常となることが多い検査項目を挙げなさい。
解答	AST, ALT, γGT
例題	医事室に薬剤血中濃度測定者を報告する理由について答えなさい。
解答	薬剤血中濃度検査では、初回の検査時と2回目以降の検査時とでは加算点数が違ってくるため。

中級 第2分野 心電図検査

解説	● 当院で行われている、標準12誘導は最も基本的な測定方法である。胸部誘導の電極位置を正確に覚えておく事が大切である。測定時には電極の位置・雑音の混入に注意する。 ● 検査記録表の作成時には次の事に注意する。対象者は、漏れのないように確実にチェックする。また入院や転棟があった場合には、忘れずに表に追加しておく。 ● 定期採血の回数は各病棟によって決まっているが、緊急時や指示があった場合などはこの通りではない。漏れのないように、定期的に実施する。 ● 心電図検査の指示受けをする時には、次の2つに特に注意する。日時指定については、定期心電図検査予定日より前に測定したい時など、依頼を受けることがある。測定条件については、不整脈の有無を確認したい時など、通常より時間を長く測定することがある。 ● 定期心電図の日程を立てる時には、予定日に全対象者の検査を終了させるため、プログラム・病棟行事・外出・外泊などを考慮し、手際よく実施する必要がある。 ● 測定準備をする時には、次の3つに特に注意する。検査途中に記録紙(ロール紙)がなくなるとは、時間が必要以上にかかり、患者様にも負担がかかってしまう。寒い部屋では筋電図が混入しやすくなる。また極端に暑い部屋では基線の揺れの原因にもなる。特に女性の方は、カーテンを引いたり、タオルを掛けたりするなどの配慮が必要である。 ● 測定時には次の4つに特に注意する。雑音が混入しないように、検査室の気温などに注意する。漏電のないように、確実にアースを接続する。不整脈など何か異常所見を見つけたときには、正確な診断のためにも長めに測定することが必要である。落ち着いて検査を受けられるように、声掛けなどをする。 ● 診やすい心電図結果の提供の為に、測定結果の処理もキレイに行うよう、心掛けることが大切である。 ● 検査結果の流れをしっかりと確認し、必要時にいつでも結果を見る事が出来るようにしておくことが大切である。 ● 心室性期外収縮とは最も注意すべき不整脈である。心室性期外収縮の中でも、3個以上連続するもの(ショートラン型)や形が変化するもの、RonT型、非常に頻発するものが危険であるとされている。 ● 医事室では毎月、会計カードを作成している。会計カードには、月々の検査で付いた病名や検査内容などが記入されているため、会計カードを作成する上で必要となる。心電図検査だけでなく、他の検査でも同様であり、確実に医事室へ異常所見を報告する必要がある。現在は所見用紙だけでなく、「病名一覧表」でも検索できるようにしている。
例題	現在、当院で行われている心電図検査について説明しなさい。
解答	通常、標準12誘導で測定している。必要時には心電図モニターを使用することもある。
例題	心電図検査記録表の作成方法を説明しなさい。
解答	Excelの心電図というファイルまたは検査管理の「心電図日程表」にて、定期心電図実施対象者を確認する。 確認後、氏名・担当医名をコピーし、「心電図検査記録表」に貼り付ける。 50音順に並べた後、印刷する。
例題	当院での定期心電図検査について説明しなさい。
解答	定期心電図検査は東・西・北病棟では3ヵ月に1回、南病棟では有所見者の方は3ヵ月に1回、それ以外の方は6ヵ月に1回実施している。12誘導で測定し、検査結果は内科医へ提出する。
例題	心電図検査の指示受けをする時の注意点を挙げなさい。
解答	日時指定がないか確認する。 測定条件がないか確認する。
例題	定期心電図検査の日程を立てる上での注意点を挙げなさい。
解答	プログラム・病棟行事・外出・外泊などを考慮して、日程をたてる。
例題	心電図検査の準備をする上での注意点を挙げなさい。
解答	記録紙(ロール紙)の補充 検査室の気温 カーテンなど検査室の環境
例題	心電図検査実施時の注意点を挙げなさい。
解答	雑音が混入しないようにする。 漏電のないようにする。 不整脈など何か異常所見を見つけたときには、通常の時間より長めに測定する。 落ち着いて検査を受けられるように、配慮する。

例題	心電図測定結果の処理方法について説明しなさい。
解答	測定後誘導毎に切り分け、心電図台紙に1枚ずつ診やすいようにずらして糊付けする。 検査所見用紙・心電図台紙に検査日を記入する。 心電図検査記録表に検査日・測定時間を記入し、実施者のサインをする。 担当医毎にまとめ、病棟行きBOXに入れる。
例題	検査結果の流れ(内科医報告から医事課報告まで)について説明しなさい。
解答	各病棟から内科医へ結果を提出する。 内科医の所見記入後、病名の確認をする。 有所見者の場合は、「病名一覧表」に病名を入力する。 「検査実施一覧表」の内科医所見の欄に○印をつけ、今度は担当医へ提出する。 担当医の所見確認後、「検査実施一覧表」の担当医所見の欄に○印をつける。 検査所見用紙は1ヵ月分まとめて医事課へ提出する。 医事課から病棟クランクへ行き、病棟クランクがカルテに添付する。 測定結果(心電図台紙)は1ヵ月分まとめて、CT室へ保管する。 心電図検査記録表は月末に各病棟より確認印をもらい、ファイルに綴じる。
例題	心室性期外収縮について説明しなさい。
解答	洞結節以外のところから刺激が起こり、洞結節よりも早いタイミングで心臓の興奮が起こることを期外収縮という。心室から刺激が出て期外収縮が起こることを心室性期外収縮という。心室の興奮が心房の興奮よりも先に起こる不整脈のことをいう。見分け方としては、必ずQRS波が予定の時間(洞周期)よりも早く発生し、いきなりQRS波で始まる(QRS波の前にP波がない)。また多くの場合、幅の広いQRS波と逆向きのT波がみられる。
例題	医事室に異常所見(病名など)を報告する理由について答えなさい。
解答	会計カード作成時に病名を記入しなければならないため。

中級 第3分野 尿検査	
解説	● 当院での尿検査は、東・西・北病棟では入院時のみの実施である。検査技師は普段は外来患者様分くらいで、あまり実施しない。 ● 尿検査の準備時には病棟の手間を省くため、一般尿検査所見用紙と検査実施箋を一人分ずつまとめ、束にしておいた方がよい。 ● 早朝尿が良いとされているが、病棟ではなかなか実施できないのが現状である。また、痴呆症状のみられる患者様が多い病棟の為、南病棟に検査依頼している状態である。 ● 検査センターへの検査依頼は殆どないが、当院における試験紙法では検査出来ない項目など、精密検査が必要な場合には依頼することがある。 ● アスコルビン酸によって偽陰性となるのは、ブドウ糖と潜血。これ以外では、長時間放置した尿では、細菌が繁殖して尿中の尿素を分解し、アンモニアを生じるためにpHがアルカリ性に傾いたり、pH2以下の強酸性尿では蛋白質は偽陰性反応を示したりすることがある。 ● 医事室での会計カード作成のため、新たに付いた病名などの異常所見を報告しなければならない。
例題	当院で行われている尿検査について説明しなさい。
解答	試験紙法である、ウロヘマコンピスティックスを使用している。検査項目はウロビリノーゲン、蛋白質、pH、ブドウ糖、潜血であり、南病棟ではウロビリノーゲン以外の4項目を実施している。
例題	一般尿検査所見用紙の作成方法について説明しなさい。
解答	必要以外の検査項目を削除するため、赤線を引く。 患者様氏名・年齢を記入し、指示受けした検査実施箋と一緒にまとめて病棟行きのBOXに入れる。
例題	南病棟における尿検査について説明しなさい。
解答	南病棟では定期尿検査として、月1回、大体月始めに各病棟で実施している。検査の指示受けや所見用紙の準備は検査技師が行っている。
例題	検査センターへ尿検査を依頼する場合の検査方法について答えなさい。
解答	指示受け後、一般定性・定量・沈渣などの場合には依頼書1、細菌検査の場合には依頼書2に必要事項を記入する。 尿用試験管に氏名ラベルを貼り付ける。 検査指示箋と依頼書、尿用試験管を一緒にして病棟にあげる。 採尿後、検体と依頼書を薬局に下ろし、「検査実施一覧表」に必要事項を入力する。
例題	当院の尿検査において、アスコルビン酸(ビタミンC)によって偽陰性となる項目について答えなさい。
解答	ブドウ糖、潜血
例題	医事室への結果報告の方法について説明しなさい。
解答	異常所見(病名)の報告は、検査管理フォルダ内の「病名一覧表」で、所見用紙は1ヵ月分まとめて月末に医事室へ提出している。

中級 第4分野 脳波検査	
解説	● 当院で行われている10-20法の利点は頭蓋の大きさに関係なく、ほぼ一定部位に電極を装着することができ、大脳の全領域をカバーすることができることにある。 ● 測定準備時には、次の2つに特に注意する。 検査途中に記録紙がなくなるとは、時間が必要以上にかかり、患者様にも負担がかかってしまう。 寒い部屋では筋電図が混入しやすくなる。また極端に暑い部屋では基線の揺れの原因にもなる。 ● 測定時には、次の2つに特に注意する。 雑音が混入しないように、体動やまばたきなどを出来るだけ防ぐようにする。また、電極の装着不良も避けることが大切である。 落ち着いて検査を受けられるように、外部の音など刺激となる要因を出来るだけ少なくする。 ● 診やすい脳波結果の提供の為に、測定結果の処理もキレイに行うよう、心掛けることが大切である。 ● 迅速な検査結果の提供のため、興奮・拒否などがみられる患者様に対して、トリクロリールシロップの使用を考える。 ● てんかん発作時にみられる所見には、次の5つがある。 3Hz棘徐波複合→欠神発作時にみられ、全般的に2.5～3.5Hzの反復周期で棘徐波複合が群発波として3秒以上持続する。 遅棘徐波複合→レノックス症候群で出現しやすく、2.5Hzより遅い反復周期の棘徐波複合が全般性に3秒以上群発してみられる。 棘徐波複合→全般性強直間代発作などの時にみられ、棘徐波複合の反復周期が と異なる場合である。 多棘徐波複合→ミオクロニー発作などにみられ、3個以上の反復する棘波に徐波が伴う全般性の群発波をいう。 ヒプサリズム→West症候群時にみられ、高振幅(300μV以上)のδおよびθ波が全般性、持続性に出現し、さらに多焦点性の棘波、鋭波が群発する得意な脳波パターンである。 ● 測定結果の管理では、いつ、どなたが検査を実施したのかが、誰にでもはっきりと分かるように保管することが大切である。
例題	当院で行われている脳波検査について説明しなさい。
解答	10-20法の耳朶基準電極導出法と双極導出法を用いている。賦活法としては、眼の開閉(2回1分おき)、過呼吸(2分間)、光刺激を行っている。また、3パターンのモンタージュ(各種導出を組み合わせたもの)で測定することによって、頭部の全領域をカバーすることが必要である。
例題	脳波検査準備時の注意点を挙げなさい。
解答	記録紙・インクの補充 検査室の気温
例題	脳波検査実施時の注意点を挙げなさい。
解答	雑音が混入しないようにする。 落ち着いて検査を受けられるように、配慮する。
例題	脳波測定結果の処理方法について説明しなさい。
解答	測定後、パターンや賦活法を赤ペンで記入する。電極の装着不良などの雑音がみられた時には、黒鉛筆で状況を書き込む。 脳波所見用紙・脳波表紙へ必要事項を記入する。 記録紙に脳波表紙をセロファンテープで貼り付け、その上に脳波所見用紙をクリップで留める。 担当医へ記録紙を提出する。 検査記録簿フォルダ内の脳波検査記録表に、必要事項を入力する。
例題	興奮や拒否などで脳波検査が行えない場合の対応について説明しなさい。
解答	「検査未実施報告書」を作成し、担当医へ提出する。 同時に次の検査時にトリクロリールシロップを使用するか担当医に確認する。 トリクロリールシロップの効果がみられない場合には、再度「検査未実施報告書」を作成し、担当医へ提出する。
例題	てんかん発作時にみられる脳波所見について答えなさい。
解答	3Hz棘徐波複合 遅棘徐波複合 棘徐波複合 多棘徐波複合 ヒプサリズム
例題	脳波測定結果(記録用紙)の管理方法について説明しなさい。
解答	担当医確認後、月毎の実施者を記入した用紙を箱に貼り付け、1ヶ月分まとめて記録用紙を保管する。 記録用紙入れ用のダンボール箱に、1ヶ月分ずつまとめた箱を入れ、ダンボールの外側に月毎に実施者を記入した用紙を貼り付ける。 過去1年分はCT室に保管し、それ以上前のものは4階の資料庫に保管する。

中級 第5分野 胸部レントゲン検査	
解説	● レントゲン検査の指示を受ける時には、次の2つに特に注意する。緊急時の場合が多く、早急な対応が必要となる。撮影部位によって、撮影方法も変わってくるので注意す ● レントゲン検査準備時には、次の4つに特に注意する。感光したフィルムで撮影しても、現像されないの注意する。診やすいレントゲン写真にするため、撮影部位が全て入るようにセットする。撮影時にはフィルムバッジを付け、レントゲン室の扉はしっかり閉める。放射線量を測定するガラスバッジを忘れずに付け、自分の身を守る事も大切である。 ● 診やすいレントゲン写真の提供の為に、写真の処理もキレイに行うよう、心掛けることが大切である。 ● 前回撮影したフィルムと比較する場合がある。前回分も提出するように、指示があつてから探しているようでは遅い。 ● 撮影結果はいつ、どなたが検査を実施したのかが、誰にでもはっきりと分かるように保管することが大切である。 ● 医事室には漏れのないように報告することが大切である。また、撮影方向やフィルムの種類・使用枚数なども確実に報告する。
例題	レントゲン検査の指示受け時の注意点を挙げなさい。
解答	日時指定があるか確認する。 撮影条件(部位・方向など)があるか確認する。
例題	レントゲン検査準備時の注意点を挙げなさい。
解答	感光したフィルムを撮影板にセットしないようにする。 フィルム全体に撮影部位がしっかり収まるようにする。 X線漏洩に注意する。
例題	胸部レントゲン検査の実施方法について説明しなさい。
	レントゲン室にあるブレーカーをONにし、撮影機の電源をONにする。 現像機の電源を2ヶ所ONにする。 排水栓を閉め、水道栓をいっぱいを開く。 10～15分後、現像機のタンクに水が溜まったら、水道栓を閉める。 現像機の赤ランプが2つ点いたら、使用可能。 フィルムの入った撮影板をセットし、立位時には左上に名前ラベルを貼り付ける。 患者様の胸の厚さを測り、撮影機に入力する。 患者様の背骨と腋下のラインを撮影機の線と合わせる。 大きく息を吸って、一旦止めるように促し、撮影ボタンを押す。 撮影終了後、現像室の扉をしっかり閉め、光が入らないようにする。 水道栓を開き、電気を全て消してからフィルムを出し、現像機にフィルムを流し込む。 現像終了後、水道栓を閉め、排水栓を開き、現像機の中の水を捨てる。 撮影機、現像機の電源をOFFにする。
例題	レントゲン検査結果(撮影フィルム)の処理方法について説明しなさい。
解答	フィルム現像後、フィルム内の邪魔にならないところに、患者様氏名・撮影日・撮影部位・撮影方向を黒マジックで書き込む。 サンドペーパーにも患者様氏名・撮影日・撮影部位・撮影方向などを記入する。 検査所見用紙に患者様氏名・撮影日を記入し、フィルムと一緒に内科医へ提出する。 検査記録簿フォルダ内の脳波検査記録表に、必要事項を入力する。
例題	レントゲン検査結果(撮影フィルム)を内科医に提出する時の注意点を挙げなさい。
解答	入院時以外の場合には、前回撮影したフィルムも一緒に準備し、内科医へ提出する。
例題	レントゲン検査結果(撮影フィルム)の管理方法について説明しなさい。
解答	担当医確認後、月毎の実施者を記入した用紙をフィルム箱に貼り付け、1ヶ月分まとめて記録用紙を保管する。 ダンボール箱に、1ヶ月分ずつまとめたフィルム箱を入れ、ダンボールの外側に月毎に実過去1年分はCT室に保管し、それ以上前のものは4階の資料庫に保管する。
例題	医事室への報告方法について説明しなさい。
解答	内科医・担当医の確認後、検査所見用紙は1ヵ月分まとめて月末に医事課へ提出する。

中級 第6分野 外来での検査	
解説	●凝固させてしまったり、必要量が一度で採血できないと、何度も採血をしなければならぬため、患者様にとって大きな負担となる。 ●頭部CT検査の予約は院内の検査日であれば、一日中いつでも実施できるようにしてあるため、望ましい。院内検査日に来院するのが困難な場合には、外来看護師より事前に報告してもらうようにする。 ●外来患者様の場合には検査前の食事の管理などは難しいことが多い。正確な測定結果のためにも早朝空腹時の採血が望ましい。 ●検査結果はいつ、どなたが検査を実施したのかが、誰にでもはっきりと分かるように保管することが大切である。 ●検査結果の流れをしっかりと確認し、的確なページに添付しておくことが大切である。また、診察中に検査結果を確認する事がある為、内科医所見記入後は直ちに、カルテに添付するようにする。
例題	採血時の注意点を挙げなさい。
解答	末血検体、血糖検体、HbA1c(グリコ)用検体が凝固しないように、充分に転倒混和検査項目とそれに必要なスピッツの本数が合っているか確認する。 一度の採血で済むように、採血技術を向上する。
例題	外来における頭部CT検査予約時の注意点を挙げなさい。
解答	院内の検査予定日であることが望ましい。 検査担当者が勤務している日時にする。
例題	外来患者様に対する、血液検査を受ける上での注意点を挙げなさい。
解答	検査当日の食事は摂取しないようにする。
例題	外来における心電図測定結果(心電図台紙)の管理方法について説明しなさい。
解答	内科医の所見確認後、検査所見用紙は外来カルテへ添付する。 心電図台紙は、次回受診日まで第1診察室に一時保管しておく。 以後は1ヶ月分まとめて、入院患者様分と同様にCT室へ保管する。
例題	外来での検査結果の報告方法について説明しなさい。
解答	検査結果到着後、薬局に検査結果を取りに行く。 糊付けせずに、異常値に赤鉛筆で線を引く。 「検査実施一覧表」に必要事項を入力し、内科医へ提出する。 内科医の所見記入後、病名の確認をする。 「検査実施一覧表」の内科医所見の欄に○印をつける。 外来カルテの検査所見のページに「生化学・血液・その他」と分けて、貼り付ける。 「検査実施一覧表」のカルテ添付の欄に○印をつける。
例題	外来で検査管理をする必要性について答えなさい。
解答	外来は限られた診察時間であるため、必要な時に検査結果がなければならない。そのためにも次回の受診日までに確実に外来カルテに添付しておかなければならない。
例題	検査結果を外来カルテに添付する時の注意点を挙げなさい。
解答	次回外来受診時まで、確実にカルテに検査結果を添付しておく。 それぞれの検査結果をバラバラに貼っておくのではなく、診やすく、確認しやすいように添付する。

中級 第7分野 その他の検査	
解説	● 当院内で行われている検査は血液検査・尿検査・心電図検査・脳波検査・レントゲン検査・頭部CT検査である。 ● 当院では殆どの場合、MRSA検査用紙にて検査依頼している。その結果(+)の場合には、再度依頼書2にて薬剤感受性などの検査を依頼することが多い。 ● シードスワブにて採便する場合には、検査可能かどうか予め検査センターに確認する必要がある。 ● 当院で実施する事はあまりないが、もし抗酸菌陽性となれば、当院での治療は出来ないため、所定の医療機関に転院となる。 ● 感染防止には手洗いうがい第一である。我々医療従事者から患者様に伝播させないように充分注意が必要がある。 ● 細菌検査だけに限らず、他の検査においても医事課への報告は重要である。レセプト作成時に必要な為、月末の検査の場合には、検査結果が出たら、早急に報告する必要がある。
例題	当院で行われている血液・尿・生理検査以外の検査について答えなさい。
解答	便検査, 喀痰検査
例題	MRSAの検査準備方法(検査センター提出まで)について説明しなさい。
解答	(+)か(-)のみの判定で良い場合には、MRSA検査依頼書に患者様氏名・年齢・採取日を記入する。 MRSAの薬剤感受性など、他の検査も行いたい場合には、検査依頼書2に必要事項を記入する。 MRSA検査依頼書で提出する場合には、MRSA用スワブ(オレンジキャップ)で、咽頭または鼻腔粘膜に擦って検体を採取する。 検査依頼書2で提出する場合には、シードスワブ3号(青キャップ)で、咽頭または鼻腔粘膜に擦って検体を採取する。 シードスワブに必要事項を書き込み、依頼書と一緒に検査センターへ提出する。 MRSA用スワブ(オレンジキャップ)の場合には、検査センター提出までの間は、薬局の冷蔵庫で保管する。* 薬局職員に一言伝える。
例題	糞便検査方法(検査センター提出まで)について説明しなさい。
解答	検査依頼書2に必要事項を記入する。 便容器(緑色)に患者様氏名・年齢・採取日を記入する。 便容器(緑色)に採便する(下痢便の場合は、シードスワブに採便する)。 依頼書と一緒に検査センターへ提出する。
例題	細菌の塗抹染色検査において、抗酸菌陽性となった場合の対応について説明しなさい。
解答	培養同定検査を行う。 ダイレクトTBやPCR法など、核酸検査を行う。 胸部レントゲン検査を行う。
例題	MRSAとは何か答えなさい。
解答	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌と言い、院内感染の原因菌の一つである。我々医療従事者の中にも保菌者が多いとされている。
例題	有所見時の医事課への報告について説明しなさい。
解答	細菌検査の中でも特に薬剤感受性検査は、常在菌以外の細菌が認められた場合にのみ行われる検査であるため、検査料の算定などの点から、正確な結果報告が必要である。

中級 第8分野 検査管理	
解説	●「検査実施一覧表」に実施状況をまとめている。病棟から検査実施済みなどの連絡がない場合には、上記の方法で確認するしかない。 ●必要時にいつでも結果がみれるように、検査結果(所見)が出たら、直ちにカルテへ添付出来るようにしておくことが大切である。 ●所見用紙として医事室へ提出するものは尿検査・心電図検査・脳波検査・レントゲン検査・頭部CT検査以上である。
例題	各種検査実施者の確認方法について説明しなさい。
解答	「検査実施一覧表」にて確認する。血液検査・細菌検査など検査センターに検査依頼するものについては、依頼書控えを確認する。また、その他のものは患者動静報告などで確認する事が出来る。
例題	検査結果の管理方法について説明しなさい。
解答	心電図検査・脳波検査・レントゲン検査・頭部CT検査の結果は4階資料庫に保管している。血液検査・尿検査・細菌検査などの結果は直接カルテに添付されている。
例題	毎月、医事室へ報告する検査結果(所見)の種類を挙げなさい。
解答	尿検査・心電図検査・脳波検査・レントゲン検査・頭部CT検査

中級 第9分野 検査センター請求書の確認	
解説	● 請求に間違いがあった場合には、検査センターに問い合わせ、次回の請求時に修正していただく。 ● 請求書の確認には、保険点数の把握が重要である。 ● 請求金額は検査項目によっては、単に保険点数の和から算出されているものではないため、どの場合に加算されるのか、どの場合に免除となるのか、覚えておく必要がある。
例題	請求書の確認手順を述べなさい。
解答	本部から検査センター請求書を受け取る。 ページ毎の請求金額の小計を計算し、さらに合計金額を算出して、請求金額と合っているか確認する。 日付順にまとめた依頼書控えと、検査センターから届いた請求書の検査項目を照らし合わせる。 請求書にサインをし、庶務管理課へ提出する。
例題	共通セット(CRP削除)、電解質セット、糖セットを行った場合の保険点数の合計を求めなさい。(但し、共通セット240点、電解質セット26点、糖セット(FPG14点+HbA1c65点=)79点、CRP23点とする。)
解答	250点
例題	請求書の確認の必要性について述べなさい。
解答	請求書内容に間違いがあると、患者様から受け取った金額と支払った金額に差が出てくるため。

中級 第10分野 職員健康診断	
解説	●職員健康診断は例年、3日間で実施している。病院だけでなく、南山苑・地域医療部・本部職員も実施する為、余裕を持って前々から準備を進めていく必要がある。 ●健診内容はしっかり覚えておく必要がある。また、検査センターのセット検査(健診セット1または2)もしっかり確認し、必要なスピッツの種類や本数を南山苑健診担当者にも申し送る必要がある。 ●健診の対象者をしっかり把握しておくことが大切である。また、南山苑・地域医療部・本部職員の胸部レントゲンや心電図検査もある。 ●必要以上にX線を照射するのは望ましくない。こちらで把握するには限界がある為、対象者本人からも申し出てもらうようにする。 ●健診を上手く進めるためには、準備もまた大切な仕事である。検査技師だけでは健診実施は出来ない為、看護課職員(3名程)にも依頼し、手伝っていただく。 ●混雑しやすい胸部レントゲン検査などでは、少しでも円滑に健診が進むように、空いている時間帯をみて、各病棟スタッフに声を掛ける事も必要である。 ●検体収集時には、次の2つに特に注意する。凝固または凝固の疑いのある検体があれば、もう一度採血し直す。勤務の都合などにより、前日や深夜に採血している場合もある。 ●「健診セット1」は年1度の健診でしか依頼出来ないため、2回目以降の健診時には一つ一つ検査項目をチェックしなければならない。また連絡事項の欄に、春の健診では「健」と記入するが、秋の健診では記入しない。 ●有所見者が多いのは、高脂血症、高中性脂肪血症、貧血症などが多くみられる。個人個人への検査結果の報告は各施設の総務室で行っている。 ●全ての検査結果を内科医に診ていただいている。3日分一度に提出するのではなく、1日分くらいずつ提出し、ゆっくり診て頂けるように配慮する。 ●健診期間内に受診を終了出来なかった職員を把握し、早いうちに都合をつけて受診するように促す。 ●問診票に記入漏れのある場合には、本人に返却する。また、回収時に記入漏れがないか確認し、あった場合にはその都度返却する。 ●平成15年度から各施設の総務室で管理する事となった。健康診断終了後は直ちに各施設の総務室へ検査結果を提出出来るようにしておく。
例題	当院では年2回職員の健康診断を実施しているが、例年の実施日を答えなさい。
解答	春は4月の第4週の月～水曜日、秋は10月の第4週の月～水曜日
例題	職員健康診断の検査項目を挙げなさい。
解答	春はAST、ALT、γ-GT、TC、HDL-C、TG、FPG、RBC、Hb、WBC、HBsAg、HBsAb、HCV、胸部レントゲン、尿検査、血圧測定、対象者は心電図検査。秋は春の項目からHBsAg、HBsAb、HCV、胸部レントゲン、心電図検査を除いた項目。また、X線取扱者はRBC、Hb、WBCの代わりに末血1を行う。
例題	職員健康診断の対象者について答えなさい。
解答	春は全職員。秋は夜勤者、医師、X線取扱者。但し、入職して3ヶ月未満の職員は受診しなくて良い。また、春の心電図検査の対象者は35歳の方と40歳以上の方となっている。
例題	胸部レントゲン検査を受けなくても良い職員について説明しなさい。
解答	新入職員 6ヶ月以内に他の医療機関で胸部レントゲン検査を行った職員 妊娠または妊娠の可能性がある職員
例題	検査担当者の役割について説明しなさい。
解答	検査担当者は、円滑に職員健診を行えるように援助する事が大切である。
例題	健康診断前日までに準備しなければならないものを挙げなさい。
解答	血液検査物品(スピッツ、注射器、注射針、酒精綿、カミバン、駆血帯、枕、膿盆など) 尿検査物品(ハルンカップ、ウロヘマコンピスティックス) 胸部レントゲン検査物品(レントゲンフィルム、サンドペーパー、現像液、定着液など) 心電図検査物品(検査所見用紙、心電図台紙、記録紙、ケラチンクリームなど) CT室の環境整備(清掃、ごみ箱、シーツ交換、長テーブル、イスなど) その他必要品(医療廃棄物入れの箱、ダスロールなど)
例題	検査担当者との打ち合わせの必要性について答えなさい。
解答	より順調に健診を進められるように打ち合わせをし、自分の仕事・担当を再確認する。
例題	健康診断実施時の注意点を挙げなさい。
解答	円滑に健診を行えるように、様々な状況に対応する。
例題	血液検体の収集時の注意点を挙げなさい。
解答	末血検体、血糖検体、HbA1c(グリコ)用検体が凝固していないか、入念に確認する。 採血時間

例題	健康診断時における、検査センターに検査依頼する際の注意点(依頼書の書き方などについて)を挙げなさい。
解答	検査センターでは、予めいくつかの検査項目がセットになった「健診セット1」というものがある。健診時にはこのセット検査でしか実施することが出来ず、セット検査以外の項目を追加する場合には、依頼書がさらにもう1枚必要で、計2枚となる。1枚には「健診セット1」、もう1枚には追加項目を記入する。
例題	当院における職員健康診断の結果、例年有所見者が多くみられる検査項目を挙げなさい。
解答	TC, TG, Hb, WBCなど
例題	内科医に診ていただくものを挙げなさい。
解答	血液検査結果, 胸部レントゲン検査結果, 心電図検査結果
例題	検査結果を取りまとめる上での注意点を挙げなさい。
解答	出来るだけ一人一人の受診状況を把握する事が大切である。
例題	問診票を取りまとめる上での注意点を挙げなさい。
解答	記入漏れがないか確認する。
例題	健康診断終了後、各施設の総務室へ提出するものを挙げなさい。
解答	春の場合は、血液検査結果, 胸部レントゲン検査所見用紙, 心電図検査所見用紙, 問診票。秋の場合は、血液検査結果, 問診票。

中級 第11分野 職員検便	
解説	● 検便は厨房に出入りする可能性がある職員は全員行う。検便を実施し、異常がないと判断された職員は、衛生上の為、厨房に出入り出来ない。 ● 食中毒の流行が予想される期間は月2回である。また月2回実施する月は、1回目と2回目の実施日の間隔を考慮して日程をたてる。実施日程を決定するにも、土・日・祝日は除いて組むようにしている。 ● 職員には採便のみをお願いし、準備や検体の提出は検査技師が行う。よって、土曜日は検査技師不在の為、検査依頼出来ない。 ● 検便を実施し、異常がないと判断された職員以外は、衛生上の為、厨房に出入り出来ない。 ● 検便記録表は検便実施記録となるので、忘れずに作成する。また監査時の点検項目となる為、施設毎・個人毎に整理してファイリングしておく必要がある。
例題	職員検便の対象者を挙げなさい。
解答	栄養士、庶務管理課員、本部長、病院警備員
例題	職員検便の実施日程について説明しなさい。
解答	6月から9月の間は月2回、それ以外の10月から5月までは月1回。
例題	職員検便の準備時の注意点を挙げなさい。
解答	年間の実施日程をきちんと把握し、予定日前に余裕を持って採便依頼をする。
例題	職員検便の対象者に対する、検体提出時の注意点(お願い)を挙げなさい。
解答	午前中に検体を提出する。 土・日・祝日は提出しない。
例題	検便準備方法について説明しなさい。
解答	検査依頼書2に必要事項を記入する。 便容器(緑色)に患者様氏名・年齢を記入する。 便容器(緑色)を対象職員に配布する。 検体を受け取ったら、依頼書に採取日を記入し、検査センターへ提出する。
例題	食中毒の原因となる細菌は何か答えなさい。
解答	ビブリオ菌、O-157、赤痢菌、サルモネラ(腸チフス・パラチフス菌)など
例題	検便記録表の作成方法について説明しなさい。
解答	Excelにて、前月の検便記録表をコピーする。 検査センターからの報告書を基にし、検査日・結果を入力する。 印刷し、庶務管理課課長の印をもらう。 報告書・印をもらった記録表はファイルに綴じて、保管する。 日清医療食品職員の検便結果もいただく。
例題	日清医療食品職員の検便結果の収集方法について説明しなさい。
解答	検便結果のコピーを下さるように、病院栄養士にお願いする。
例題	検便結果の管理方法について説明しなさい。
解答	検査センターからの結果(報告書)と検便記録表はそれぞれ月毎にまとめ、インデックスをつけてファイルに綴じる。

中級 第12分野 院内感染情報の提供	
解説	●入院患者様は年に1度、感染症の検査を行っている。定期採血の指示を受ける場合(検査箋作成時)には、忘れずに検査箋に感染症検査の項目を入力する。 ●感染患者様の把握は、「患者動静報告」や病棟カンファレンス・全体連絡会議などでの情報も大切である。いつでも確認し、常に感染状況を把握しておくことが必要である。 ●60歳以上の方が多いため、南病棟の易感染者の数は多い。また、入院時のMRSA検査で陽性となった患者様も定期的に再検査するなどして、管理していくことが大切で ●月末現在の状況は、院内感染対策委員会の議事録に添付される。院内感染防止の為、正確な感染状況の把握が重要である。また、確実な院内感染情報が求められる。感冒様症状のみられた患者様については、集計結果をグラフ化し、ネットワーク上に掲示している。
例題	感染症患者様の確認方法について説明しなさい。
解答	入院時の感染症検査の結果や年1度の入院患者様の感染症検査の結果など
例題	感冒様症状の患者様の確認方法について説明しなさい。
解答	「患者動静報告」で報告されている、発熱者や風邪薬服用者をチェックする。
例題	当院における易感染者の定義について説明しなさい。
解答	B型肝炎、C型肝炎、梅毒などの感染症患者様 60歳以上の患者様 感冒様症状や発熱などの症状がみられる患者様
例題	院内感染情報(サーベイランス)の作成方法について説明しなさい。
解答	日毎の各病棟の患者数を入力する(入院・転棟など)。 感染症患者数・感冒様症状患者数・発熱者数などを入力する。 易感染者数を入力する。 毎月末にそれぞれを集計し、1ヶ月の平均数を算出する。 臨床検査のフォルダに保存する。
例題	感染症患者一覧の作成時の注意点を挙げなさい。
解答	新たに感染症の患者様が増えた場合には、忘れずに人数の修正を行う。
例題	院内感染情報(サーベイランス)の役割について説明しなさい。
解答	院内感染の防止に大切な、感染患者様の早期発見と迅速な対応のために必要である。
例題	感冒様症状患者数の調査方法について説明しなさい。
解答	月毎に集計した院内感染情報(サーベイランス)を用いて、1ヶ月の平均人数や病棟別の人数の増減などを調査する。